女房形気
七福面相
京山作
豊國画
山田屋板

# 女房形氣草

七編上冊

京山作豊國画

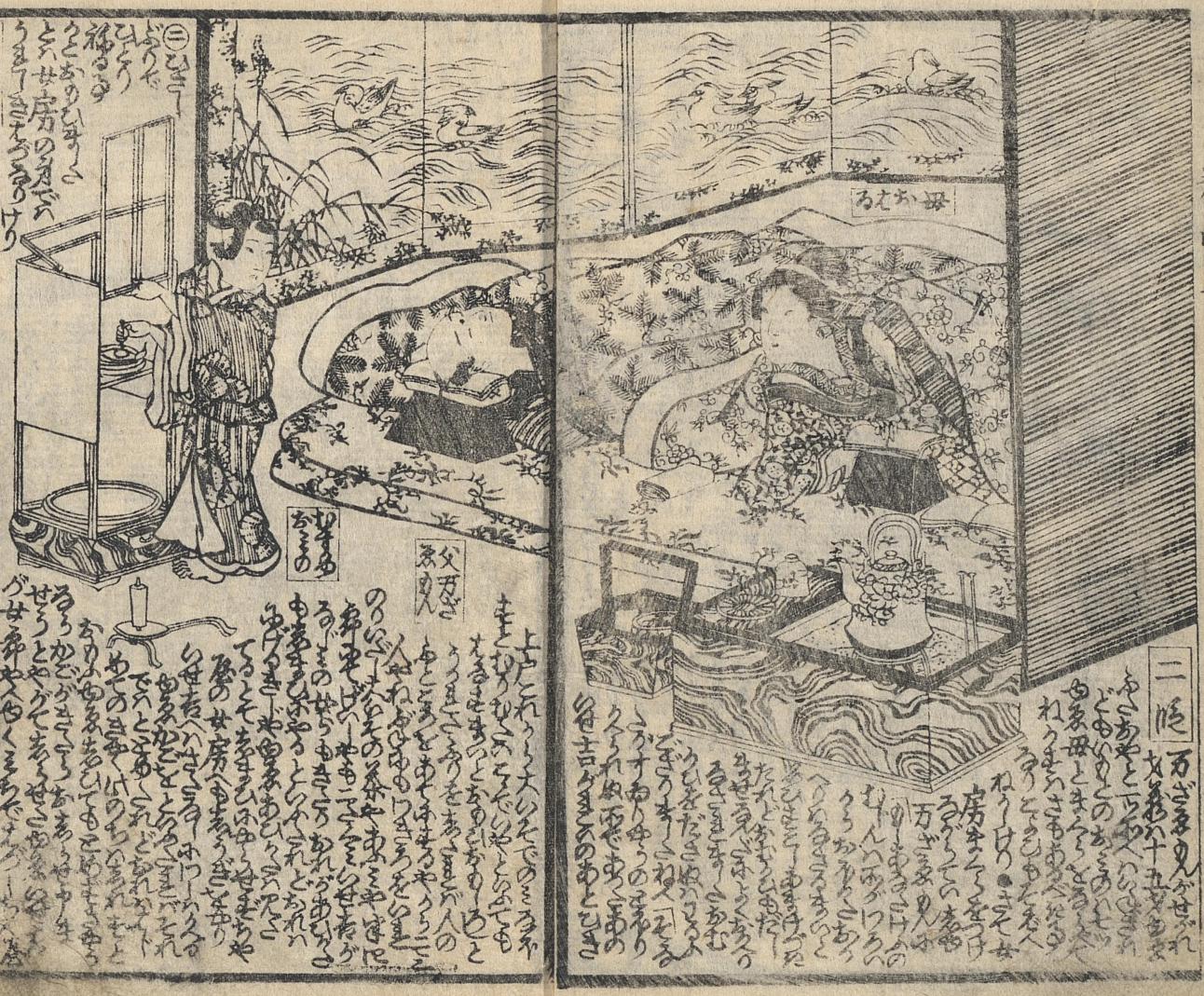
山田屋寿梓



## 女房形氣草 七編上卷

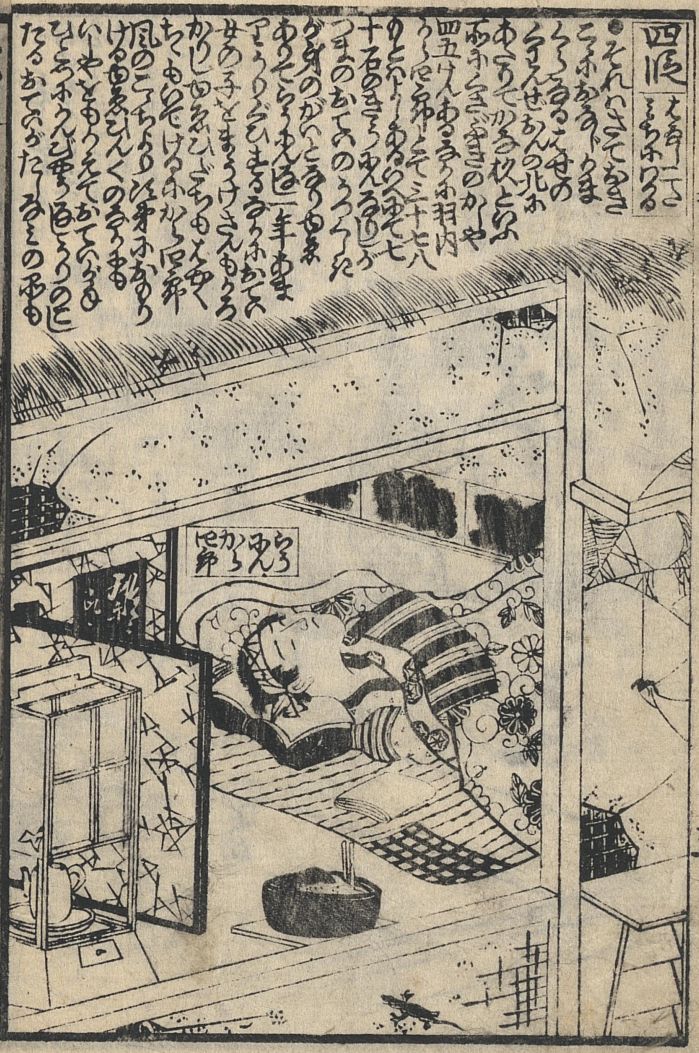
女房形氣四へんより五編六へんかづきたるもの
たるへやきのち上るの女房おのまがもめ
さのそころさに人のたきつけるともかまらぎ
そろくとそれ大ようそこげざるかうふ
そうとやきたるゆあやうく男ゆくち
がたぎふりふるふれうまをを
おとねぎつひゆたの者も女
房のうつくしきをひまくく女
ふうひとやめそめぎとしくと
かきとうしとを
ある面あり
なるおちくろ
おのまとらひける
やう女房形氣
四へんより六へんかづ
きやたのち上るの
ゑ本とこせたへ家
やく女中たちれまを
とせらまくるふうん
さどさうとれをこの

初音
源氏
雨夜の品さだめ
光源氏
左りの馬のかた
此草子嘉永元年戊申二月稿本
同年初冬開板酉春布寸世


二
万ざえもんがせがれ
女義八十九郎
母
父万ざえもんの
ひきまくらのそば
(三)ひきまくらのそば
ひとり
移るる
とかの
とい世房の
うまてきたるるけり
その二
えと世房ちとうへ小用ゆきとい者

清書
おとま
おとま
おとま
おとま
おとま
おとま
おとま

四段



いちの巻
五段

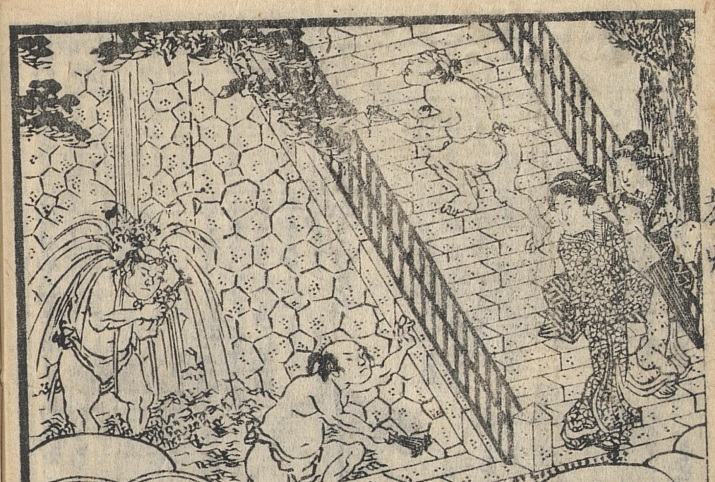
その二

## 五月

## 六月

## 七月

ふいご
八月



京山作
豊國画

女房形氣
七編上終

九段

さるわかふ小ひとが世ちるあつをこれてかのひるくまたはいるーふ小ひとが
あそこをいるくあるくふあるかーくなるあひ
とりまたはーとりはけれであそこのたらあひい
ふかくこれてこりをさるくふかトこあひをる
あいるくるくるんの代はそんの者ちる
ちるあひとりくひ五人男のこりを
ちるくるトこあひるまびはけれるる
けてそーこりをこりる男のトこあひと
女のこりあひとる母びんゆりかくこ
あてあそこまべきだるやふかるりと
そんけまびはけれとそ小ひとが母トこ
あひをりくひけまびあのりちるふりひ
小ひとまんあ男あるふくこまびさ
りまやらい月はあひをせわりるりません
「それはあめでこりまえりまり
ちりまけるりんひ
ちりまありせびわく

## 嘉永三庚戌春新版目録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 品定五人娘 京山作 初編二編 豊国画 | 雛鶴箒湯壽 京山作 豊国画 全一冊 | 毅草女房形氣 同作 八編 九編 同画 | 新撰狂句會 初篇 二篇 立斎廣重画 |
| | | ちり塚物がたり 同作 三編 大尾 同画 | |
| | 源氏雨夜の品さだめ五人の娘あの むくふ世をさとる幸をまりくく かきたりくる州ざいーるり | だいきち大形おくりさとかくまあげ めくくさ也と絵ふまんの月とりくく かきたるかるれば花みあげ上ミ右なり | |
| | | 皆つくめ稲妻州紙 玉川亭調布作 初編ヨリ五編マテ 錦朝楼芳虎画 大尾 | かな手本忠臣蔵 好古斎主人作 芳虎画 二冊 |

江戸中橋廣小路
山田屋庄兵衛板